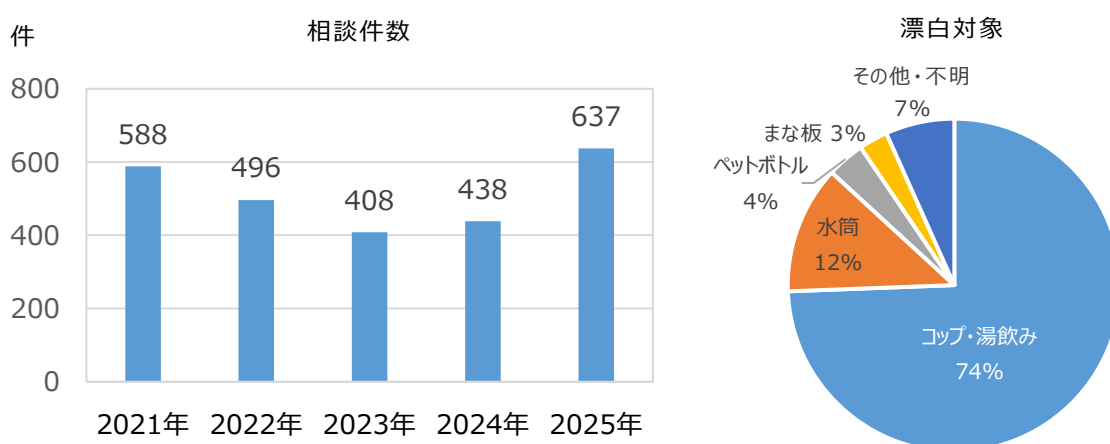


塩素系漂白剤使用中の誤飲事故に注意しましょう！

中毒110番には、塩素系漂白剤で漂白中のコップや湯飲み、水筒の中の液を誤飲したとの相談が多く寄せられています。2025年は過去5年で最も多く、600件を超えました。希釈液(水で薄めた液)を飲んだ場合は、喉の痛みや嘔吐、腹痛など軽度の消化器刺激症状が見られる程度ですが、原液のまま飲んだ場合は、刺激が強く危険です。

塩素系漂白剤使用中の誤飲事故（2021～2025年、n=2,567）



● 以下のような相談があります。

- 「コップに塩素系漂白剤と水を入れて漂白していた。家族が知らずに、水と思って1口飲んだ。」
- 「水筒にスプレータイプの塩素系漂白剤を数回スプレーして放置した。翌朝、お茶を入れて子どもに持たせてしまい、子どもが学校で中身を飲んだ。」
- 「まな板に塩素系漂白剤をスプレーして放置後、洗い流さずに、そのまな板で果物を切って食べた。」

● 事故防止のため、以下の点に注意しましょう。

- ・製品の使用方法や注意事項をよく読んでから使用しましょう。つけ置き時間が終わったらすぐに水洗し、片付けましょう。
- ・漂白中のコップや水筒などはシンクの中に入れ、テーブルやカウンター、調理台の上などに置かないようにしましょう。
- ・「漂白中」のメモを置くなど、塩素系漂白剤を使用中であることを、家族など周囲に伝えましょう。

事故が発生し、医療機関を受診すべきか判断に迷った場合は中毒110番にご相談ください。

公益財団法人日本中毒情報センター 中毒110番電話サービス（一般向け 365日 24時間対応）

■ 大阪中毒110番 072-727-2499 ■ つくば中毒110番 029-852-9999

本資料を引用又は使用して資料作成・報道等を企図される場合は、必ず事前にその内容について日本中毒情報センター（本部事務局 電話：029-856-3566）の承諾を得、「公益財団法人 日本中毒情報センターの調査による」旨明記して下さい。